

日 時	令和5年11月30日(木) 13:00~15:00	場 所	旧中医学研究所 2階
内 容	令和5年度 第3回 旧下田中学校・旧中医学研究所有効活用検討会		
次 第	1 開会 2 日程説明 3 報告事項 (1) 検討会の進め方について (2) 有効活用の提案説明について (3) その他 4 検討事項 (1) 有効活用案について (2) その他 5 その他 6 閉会		
出席者	岡村会長、阪本副会長、宮村委員、尾崎委員、宮崎委員、佐田委員、三浦委員、片岡委員、前田委員、有原委員、山下委員、谷口委員、遠近地震防災課長、武田企画広報課長、田邊室長、永野主幹		
会議の概要と結果			
岡村会長	1 開会 委員15名中12名が出席し会議を開会。 今後委員が安心して発言できるよう傍聴者に対し私語、拍手、撮影、録音を慎むこと、また委員に対しても録音を慎むことを依頼。 依頼に対し傍聴者からの異議申し立てが相次いだため、会議を小休として委員意見の取りまとめを行い、委員による録音については、個々の発言箇所を確認する目的に限り認めることとした。		
事務局	2 日程の説明 会次第に沿って日程を説明。		
事務局	3 報告事項 (1) 検討会の進め方について 避難所機能回復及び小中一貫校の設置について、避難所機能の回復については別途地元と協議を始めていること、また小中一貫校の設置など教育方針に関することは教育委員会で時間をかけて検討すべき課題であるため、旧下田中学校・旧中医学研究所有効活用検討会(以下「検討会」という。)で議論するのではなく、市の各担当部局において別途対応し検討会での議論は行わないこと、また別途対応した結果については必要に応じて検討会へ情報提供していくことを説明。		
宮崎委員	四万十市教育振興基本計画では、保小中連携教育の効果を認めており、令和6年度中にモデル地域の指定をすることとなっている。下田三地区から市長、教育委員、議会に対して下田地域に小中一貫校の設置検討を早急にすること、更に旧下田中学校舎の指定避難所としての機能回復についても同様に要望・陳情している。別途関係部署との協議		

	<p>を進めているとは言うが、施設の有効活用に関連することから、検討会で詰めていくべきであり、意見はさせていただきたい。</p>
岡村会長	<p>検討会には専門性がなく詰めた議論は出来ない。その点ご了承いただきたい。</p>
事務局	<p>(2)有効活用の提案説明について【資料①】 事務局から事業提案者が作成した資料をもとに提案内容を説明。</p> <p><u>植物栽培体験施設</u> 旧中医学研究所1～2階を利用した、植物栽培体験施設に関する提案。 最先端技術を使った室内栽培だけでなく、農業体験、カフェスペースなども設け観光施設とするもの。</p> <p><u>米粉工場・カフェ</u> 中学校の敷地の一部及び校舎の一部を利用した、四万十川流域のお米を使った米粉工場及びカフェの提案。 全国的に生産量が不足している米粉に着目・活用し、商品開発等を行い町おこしに繋げていくもの。</p>
佐田委員	<p>植物栽培体験施設に関して、収支の中に旧中医学研究所の施設利用費が含まれていないが無償貸与するのか。</p>
事務局	<p>現時点では計算していない。今後検討が進んだ場合算出することになると思われる。</p>
宮崎委員	<p>提案者に対して指定避難所である前提条件を伝えるように話したはず。計画が実現すれば避難所としての収容定員を充足できない。そうなれば、その充足できない収容人員の施設を建設してくれるのか。</p>
事務局	<p>旧下田中学校・旧中医学研究所（以下「両施設」という。）の利活用について、企業様からの提案を紹介させていただいた。 利活用には避難所機能の確保を考慮する必要がある。活用案を絞るなかで避難所としての二次機能をどう確保するのかを必要に応じて民間事業者を確認しながら、判断していくことになる。</p>
宮崎委員	<p>前提条件の中でこの施設は災害が発生した際にこれだけの人数の避難者が避難する等、基本的な事をしっかり伝えていけば、このような提案にならないのではないかと。</p>
佐田委員	<p>災害が起きた場合には校庭を利用して施設を作らなければならない等、災害対応について市と地元で話はまとまっていないのか。</p>
宮崎委員	<p>まとまっていない。</p>
宮村委員	<p>旧中医学研究所に関して、市役所の庁内プロジェクトチーム（以下「PT」という。）</p>

	<p>の中で子育て複合施設案が提出され、PTにおいて検討を進めているのではないかと。旧中医学研究所を用いる新たな提案よりも、子育て複合施設案はどうなっているのか。</p>
事務局	<p>市として子育て複合施設に決定したわけではない。あくまでも各課から出てきた活用案の一つとしてご理解いただきたい。</p>
事務局	<p>民間公募にあたり、指定避難所であることの周知は行っている。今後、各活用案を評価していくなかで防災機能については一定評価を行う予定である。</p>
宮崎委員	<p>佐田委員も言っていたがこの地域の防災面、大学誘致等も含めた今までの経緯・背景等を知ったうえで、地域にとってどれだけ必要であるかが分からなければ評価ができないと思う。更には財政面等を含め慎重な議論をしたものでなければ地域として納得はできない。</p>
有原委員	<p>検討会の会議の中でまず考えるべきは、下田にとって命の砦である高台に何が必要かではないか。私は、高台は公的に長期避難できる場所でなければと考えている。</p> <p>小学校・保育所が高台移転すれば、下田小学校の土地が空くため、そこを利用した企業誘致も考えられる。大事な場所を、活用案のうちどれがよいかとして決めるのは違うと思う。立ち止まって考えていただきたい。</p>
岡村会長	<p>民間公募を行うことを提案したのは検討会であり、提案者側は他意なく精一杯の提案をしていただいている。短い時間の中で思いや経緯が伝わりづらい部分もあるが、今後の検討の中で議論を深めていく部分があると思われる。</p>
事務局	<p>(3)その他</p> <p>校舎の避難所利用について、下田地域と地震防災課とで話し合いを始めており、今後有効活用案が決まるまでの期間も、校舎を避難所とし利用できるよう、校舎内の危険箇所への安全措置や、備品等の整備を行っていく。</p> <p>旧下田中学校校舎内に保管している資材等については、既に整理・運搬を行い、主に2階、3階に避難スペースの確保を行った。</p>
事務局	<p>4 検討事項</p> <p>(1)有効活用案について</p> <p>公募の提案を含め様々な提案やご意見をもとに、検討会の議論の中で年度内に有効活用案を一定絞ることを考えている。活用案を議論していくうえで、提案内容を評価する資料として【資料②】を作成した。</p> <p>評価項目</p> <p>地域貢献</p> <p>地域コミュニティの場として活用できるよう、地域への配慮や地域活動への貢献を評価する項目。</p>

	<p><u>被災時の防災活用</u></p> <p>基本方針にて「どのような有効活用を行う場合においても、現在の地域防災の拠点施設として利用されている機能を確保すること」としているため、それが満たされるかどうかを判断する項目。</p> <p><u>妥当性</u></p> <p>事業の運営体制、経済波及効果、雇用機会の創出、行政需要への対応等を総合的に勘案し、事業の必要性、実現性を判断する項目。</p> <p><u>市計画との整合</u></p> <p>市の上位計画である総合計画や都市計画等との整合性があるかどうかを判断する項目。</p> <p><u>財政負担</u></p> <p>民間活力の活用を含め、可能な限り、国庫補助金等を活用し、市の財政負担を軽減することなどを評価する項目。</p> <p>上記項目について、検討会委員が判断し評価していくことが望ましいが、財政負担や市計画との整合など判断が難しい項目もあり、またスケジュールの問題もあるため、委員会のなか全て評価していくことは困難と思われる。</p> <p>そのため、今後 PT の中で各項目を評価した資料を作成し、その資料をもって次回以降の検討会において議論を行う形としたい。</p> <p>なお、PT で作成する評価資料は有効活用案を決定するものではなく、委員の皆様が議論をしていくうえでの参考資料として作成するものである。</p> <p>PT で評価資料を作成すること、また評価にあたっての項目内容等について承認されれば、資料作成に取り掛かり次回の検討会までに委員各位に確認いただけるようにする。</p> <p>尾崎委員 下田三地区は現在市議会に対して高台移転に関する陳情を提出しており、その結果によっては、他の活用案を含めた今後の検討方針の取り扱いが大きく変わると思う。可決された場合の対応はどうか。</p> <p>事務局 議会の結果を受けた場合、その取り扱いは別途検討が必要と考える。</p> <p>岡村会長 議会に関わらず我々は検討会を進めていきたい。進めたうえで、議会の結果により決定するのであれば仕方がない。</p> <p>宮崎委員 PT の役割は情報共有・連携であり、検討会が施設をどうするのかというのが大切。委員各位が勉強し、評価するのであれば分かるが PT の作った資料を参考にしてというのはもつてのほかと思う。評価にあつては、教育委員会の四万十市小・中学校再編計画（第二次）の「地元との協議を通じ、その意向をできるかぎり反映する」。更には今までの市長発言「地元合意を得ながら利活用を進めたい。」「地域の理解を得ながら慎重に進めたい。」などを考えれば、地元の委員の評価が 15 分の 1 という事にならないのでは</p>
--	--

	<p>ないか。</p> <p>議会への陳情も提出済みであり、拙速に行わず、今までの経緯、財政等の勉強をすべきではないか。</p>
岡村会長	<p>財政について、時間が十分でないため勉強が出来ない。今の意見を受け、財政負担については評価を行わないのも一つの案かと考える。</p>
宮崎委員	<p>PTによる相互の情報共有とは、検討会の知りたいことについてPTが情報提供するものと解していた。そうでなければ、議論は何にもならない。</p>
岡村会長	<p>複数ある活用案の財政について、どういった情報が必要と考えるか。</p>
宮崎委員	<p>看護大学誘致の際、旧中医学研究所施設において国の空き家対策の交付金を使っている。更には下田中学校の改修に、地方創生拠点整備交付金等を使おうとしていた。その他にも国土強靱化予算、ふるさと応援基金や起債の発行など色々なノウハウがあると思う、そのような事を提案していただいたら議論が出来る。そういったことの勉強も必要かと考える。</p>
事務局	<p>財政的なものについて、PTの役割として検証し、検証結果を次回検討会までにお示しするとともに、説明させていただきたい。</p>
宮崎委員	<p>PTの役割の中に検証という言葉はなかった。</p> <p>委員が評価できるよう、5項目なら5項目の知識が必要なのではないか。</p>
宮村委員	<p>中身について全て分かってとしても難しい。まずは一度行政に作ってもらいたき台とするのはどうか。</p>
岡村会長	<p>宮崎委員への事務局の返答は、財政的な情報についても程度は分からないが参考に出すものと考えている。そうであれば、宮村委員のご意見、事務局の返答は同じ意味をなしており、委員の知識の習得にも繋がると思う。いかがか。</p>
片岡委員	<p>保育園・小学校を高台移転した後に、その跡地で事業を行うのであればよいと思う。</p>
有原委員	<p>地元の合意・理解を得ながら進めるという風に市長は言っており、評価をつけるところに行くまでに、地元の方の意見が一番重要視されるべき。</p> <p>片岡委員がおっしゃるように、保育所・小学校の高台移転後の空き施設となった場所へ企業誘致・事業誘致するという方向で考えていけないといけない。</p> <p>四万十市内に休校舎が沢山あるなかで、わざわざ下田の高台にある必要がどうか、考えていただきたい。</p>
片岡委員	<p>旧下田中学校校舎の資材を動かしたという事だが、校舎は直さないのか。</p>

事務局	避難所利用として利用できるような出来る範囲のことは行うが、有効活用が決まり本格的な整備工事を行うまでの期間は大きな工事は行えないため、現状のままとなる。
阪本副会長	事務局へ質問したい。全国的には廃校の利活用、小学校の一部を使った民間施設等の施策が行われている。下田でも一部を学校として活用し、その他を民間活用していただく等の考えはあるか。
事務局	一例として、【資料②】10番の歴史研究の場、下田美術館等は別の主たる目的のスペースと併せて実施可能である。また、そのようなことを検討会の場で検討していただきたい。
宮崎委員	下田三地区区長会も、多機能複合施設について言及している。保育園・小学校が使わない校舎2～3階の空いたスペースへ企業が来てくれれば多機能複合施設として活用できる。
佐田委員	評価について検討会で深掘りをして、委員には分からない部分もあるため、事務局が案を作り、提示された資料をもとに議論するのが良いのではないかと。
山下委員	事務局案を作る際には、事業者からの提案がどの程度のスペースを必要とするのかを明記していただきたい。それにより、どのように他と組み合わせることが可能かを考えることができる。
岡村会長	ご意見を聞く中で、事務局で整理をすることについて、理解していただいていると考える。 片岡委員、有原委員からあった、活用案を全て同じ土台で評価するのかというご意見に関しては、保育所・小学校の高台移転に関しては優先度が高く、重要だと認識されていると理解している。結果として評価が高くなるのではないだろうか。 その他、あらかじめ委員の皆さまの優先度の高いものがあればご意見をいただきたい。 また、スーパーマーケットに関しては産業と言うよりも、地域の暮らしに関わることであり、教育福祉にあってもよいかもしれない。
谷口委員	仮に民間の方に施設活用をお願いした場合でも、命の最優先となる避難場所の確保等ができなければ、地域は安心できないのではないかと。 個人的には【資料②】9番の多機能複合施設の中の市民生涯学習施設に関心がある。民間企業の方々に依頼して、経済復興等を検討することも大切だが、市の方がその場において、市民を見守る、福祉交流センターのようなところも必要かなと思う。 植物栽培体験施設なども良いが、ただそれだけでなく、せっかくの地域があるので、更に追加を行い複合的な福祉的な施設ができればよいのではないかと。 評価については、自分たちがグルーピングのなかで話し合っ、点数付けていきながら、それぞれの提案の理解を深め、交流するというのであって欲しい。私個人としては、財政負担の部分というのは、かなりハードルが高くて、勉強不足なので評価が難しいと

	<p>思っていた。あとの評価の観点についても、十分ではないが、勉強しながら協議ができると思っている。検討事項の中身について協議できれば、もう少し安心して発言できると思う。</p>
前田委員	<p>この場所が高台であり地域が避難する場所であるということは、提案の頭に入れて貰わなければならない。</p> <p>四万十市内の他廃校に比べ、この場所は両施設及び体育館があり面積的にも広く優位性があり価値が高い。だからこそ、企業も手を挙げてくれている。</p> <p>高台避難を頭に置きつつ教育や産業を融合的に行うことで、近隣の既存施設へそれがまた広がっていくような考え方でいきたい。</p>
三浦委員	<p>下田の住民にとって命の大事な部分であることを理解しているものの、大学誘致の失敗があり、下田以外の市民もこの事業の進展に注目している。</p> <p>第一義的には防災拠点だとしても、一定収益を上げる等の経済面での展開はどこかに考える必要がある。</p> <p>複合的に、収益を得つつ地域の防災拠点とすることは絶対に可能である。また、そのような展開をすることで、下田以外の市民の皆さんにも一定有効活用を評価し理解をいただけると検討委員として考えている。</p>
岡村会長	<p>しかるべき機能を持たせたうえで残ったスペースを有効活用することについて、どなたも反対では無い。</p> <p>利活用の優先順位のようなものがあるとも考えられるが、検討会で民間公募を行ったため、全体を通して評価しつつ行っていくことが必要なのではないか。</p>
宮崎委員	<p>保育園・小学校を高台に上げたうえで、空いたところについては多機能複合施設にするという考えで、下田三地区区長会は決して後ろ向きな提案はしていない。</p> <p>指定避難所という前提も含め、どういうことが出来るか検討しなければならない。</p>
岡村会長	<p>検討会で決まったことに対して、皆さんが良かったと思えるようなプロセスが必要だと思っている。</p> <p>皆さんからの情報発信についても、メディアも含めて応援して頂ける、そういったチームになりたいと思います。</p> <p>(2)その他 なし</p> <p>5 その他 有原委員及び宮崎委員による下記の請願・陳情に関する報告 (ア)下田地域の「小中一貫校化」に関する請願 作成者：下田地域こども (イ)下田地域の「高台移転」に関する請願 作成者：下田地域こども (ウ)陳情書 作成者：下田三地区区長会</p>

有原委員	<p>(ア)、(イ)を11月28日に副市長が受理し、高台移転は検討会、小中一貫校は教育委員会で検討にあたりとされた。</p> <p>(イ)については、尾崎委員から話があった、12月議会で採決を取るものに該当する。</p> <p>下田小中学校の全校児童生徒の大多数が賛成し、地域の子どもたちが高台移転と小中一貫校化を強く望んでいる。子どもたちは様々な方の意見を聞き、勉強をしたうえで請願を出した。</p> <p>2ヶ月後の検討会では結果が出ている予定である。</p>
宮崎委員	<p>6月に市長、教育長、議長に対して要望陳情を行った。その回答は、要望したことを叶えられないという、ほとんどゼロベースのものだった。</p> <p>そのような中で、子どもたちが困っていることに対して応援をするため、「下田の子どもたちの願いを応援する署名」として署名活動を行い、(ウ)へ添付した。</p> <p>約一ヶ月の間に、4,031人の方から署名の御支持をいただき、地域の中でもご理解をいただいていると思っている。新聞やテレビでも放映され反響は大きい。署名が集まっていることも意識し、これからの議論をしていただけたら。</p>
事務局	<p>委員の皆さまに誤解のないよう補足を行いたい。市からの回答の際にゼロベースと説明いただいたが、施設有効活用及び高台移転については、検討会に要望内容を情報提供し、広く意見をお聞きしたいと回答させていただいた。</p> <p>また、高台移転については、前回の検討会においても検討会内で検討していくと説明させていただいた。</p>
岡村会長	<p>次回検討会の日程について。</p>
事務局	<p>1月中旬～下旬を予定している。1月及び3月開催を予定していたが、進捗状況によっては、2月開催も行う。</p>
岡村会長	<p>6 その他</p> <p>閉会を宣言し終了。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
記録者	<p>企画広報課施設活用推進室 永野 友裕</p>